

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 健康で生きがいを感じられる生活への支援

施策コード 030202

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 地域共生推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり (安心・健康)	節 第2節 高齢者福祉
	施策	健康で生きがいを感じられる生活への支援	

基本方針
 ・高齢者が、家庭、地域及び企業などで、豊かな経験、知識及び技能をいかし、生きがいと社会参加の促進を図れるよう、生きがいづくりと健康づくりを推進します。

現況と課題
 ・健やかでいきいきとした高齢期を送ることができるために、市民の生涯に渡る健康づくりを推進することが求められています。
 ・高齢化が急速に進む中、高齢者が持っている能力をいかして積極的に社会に参加していくことにより、生きがいにあふれた生活が送れるよう、支援が求められています。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
 介護を必要としない元気な高齢者

意図 (どのような状態にしたいのか)
 社会参加を支援するとともに介護を必要とする状態にならないようにします。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	53.1						50.7
重要度 (偏差値)	49.8						55.1

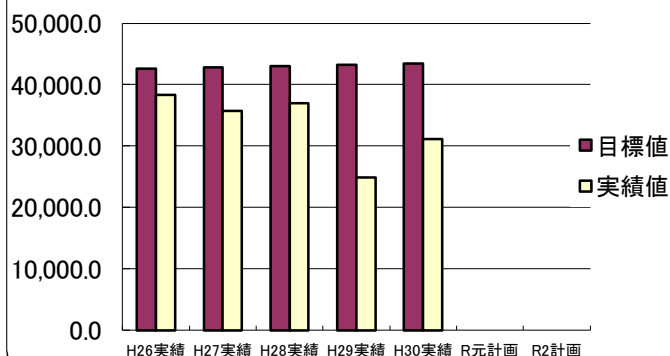
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	5,231	5,243				
	事業費		79,915	70,217				
	フルコスト		85,146	75,460				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		1,987	2,050				
	市債		0	0				
	その他		21,593	23,539				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		61,566	49,871				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		56,335	44,628				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		社会福祉センターの年間利用者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	42,600.0	42,800.0	43,000.0	43,200.0	43,400.0		
実績値	38,299.0	35,680.0	36,988.0	24,900.0	31,164.0		
達成度	89.9	83.36	86.02	57.64	71.81		
指標設定の根拠			目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景		
老人福祉センターで開催されている趣味クラブや各種講座への参加者数やその他の利用者数の変化を把握することにより、老人福祉センターが高齢者の方の健康づくり等に役立っているかを把握することができます。			毎年200人程度の増加を目標値として設定。		高齢者の趣味嗜好の多様化により、全体としては減少傾向にある。(※平成23年まで対象であった、きちょう苑・アスティ・長寿園については、所管課変更となったため、H24より社会福祉センターのみとなった。)		

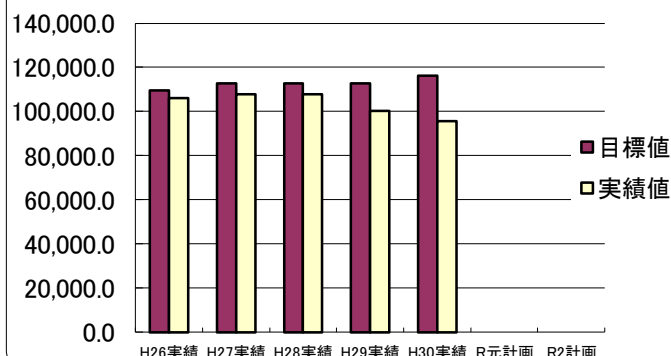
② 成果指標 2		シルバー人材センター年間就業者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	109,597.0	112,884.0	112,884.0	112,884.0	116,269.0		
実績値	106,204.0	107,891.0	107,744.0	100,140.0	95,674.0		
達成度	96.9	95.58	95.45	88.71	82.29		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値を把握することで、シルバー人材センターによる高齢者への就業機会の提供状況がわかります。		平成24年から平成25年の実績値の伸び率を勘案し、平成26年より目標値を再設定した。		長引く経済不況の影響が、高齢者の雇用情勢にも悪影響を与えているが、受注件数や就業会員数の維持の為、積極的に事業運営に取り組みを行ったが、結果として、年間従業者数の減少となった。			

③ 成果指標 3		ひとり暮らし高齢者交流会参加者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	750.0	760.0	770.0	770.0	780.0		
実績値	761.0	770.0	812.0	493.0	822.0		
達成度	101.47	101.32	105.45	64.03	105.38		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
交流会に参加することで、ひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止や孤独を解消し、多くの仲間づくりと交流の輪を広げることにより、どれだけ貢献したかがわかる。		H26の実績値を参考に設定した。		3箇所まで4回開催している交流会は、毎年700以上のひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止や、仲間づくり・交流に役立っている。			

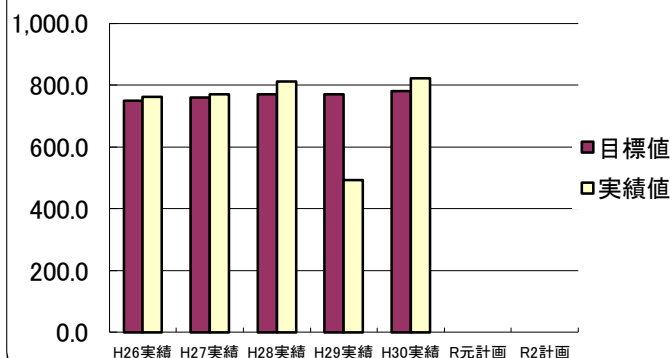
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	シルバー人材センター育成事業の就業延人員数は、経済活動状態に大きく依存しているため、経済情勢の大幅な好転が無く、成果レベルも低迷しているが、それ以外の事業は、概ね、盛況であった。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	【シルバー人材センター】高齢者の就労機会の福祉の増進(生きがい) 【ひとり暮らしの高齢者交流会】引きこもりがちなひとり暮らし高齢者に対する地域での相互交流のための交流会開催 【社会福祉センター】社会福祉事業の基幹的施設 【老人福祉施設】高齢者の各種相談、健康の増進、教養の向上など高齢者の生きがいづくりや憩いの場 【老人福祉農園】待機者が常にいる状態。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	核家族化と高齢化の進展により、要介護者や高齢者のいる世帯が増加し、地域での繋がりが希薄化。長引く不況。
	合計点	(10点中) 6点	
総合評価	C	福祉施設等の利用者については微減となっているが、就労機会、交流会は微増となっており、施策全体としては、高齢者が地域でいきいきと過ごせる社会を作るために役立っているものと考えられる。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	C	社会福祉センター利用者の増加など、高齢者の生きがいや社会参加の促進に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	C	社会福祉センター利用者の増加など、高齢者の生きがいや社会参加の促進に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01016900	老人福祉農園事業	1,098	249	249	B
2	01017200	シルバー人材センター育成事業	705	35,816	15,818	B
3	01017500	ひとり暮らしの高齢者交流会実施事業	794	1,797	1,797	B
4	01022450	社会福祉センター管理運営事業	2,382	27,613	24,072	B
5	01022800	高齢者の生きがいと健康づくり事業	264	4,742	2,692	B
合計			5,243	70,217	44,628	